

**今日のトピック 米中間選挙と株式市場のアノマリーを確認**
**中間選挙後の株価は高い勝率で上昇見込み**

- 11月8日火曜日に全世界が注目する米国の中間選挙がいよいよ実施されます。米国大統領選挙は4年ごとに実施されています。中間選挙はその中間において実施される上下両院選挙で、2年間の大統領の評価を見定めるものとして注目されています。激しい戦いが想定される中間選挙ですが、中間選挙と米国株式市場にはどのような経験則（アノマリー）があるのでしょうか。今回は、中間選挙が実施される前日を起点として大統領選挙の前年にあたる翌年末までの騰落率を1942年以降20回の中間選挙で確認しました。
- 中間選挙前日から大統領選挙の前年にあたる翌年末までの平均上昇率（③÷①）は18.4%、勝率は100%という結果でした。大統領選挙の前年の平均上昇率（③÷②）も15.4%、勝率は95%と高くなりました。こうした高い上昇率や勝率は、中間選挙の結果を踏まえ、「大統領は再選に向けて積極的な政策を打ち出す」との期待が高まるためと考えられます。過去のアノマリーに基づけば、こうした政策期待の動きは中間選挙から始まる、と言えそうです。

**【米国中間選挙前日から同年末・翌年末までのNYダウの騰落率】**

NO	大統領	所属 政党	中間選挙前日のNYダウ		同年末のNYダウ		翌年末のNYダウ		騰落率	
			年月日	①	②	③	③÷①	③÷②		
1	ルーズベルトⅢ期	民主	42/11/2	114.68	119.40	135.89	18.49	13.8		
2	ルーズベルトⅣ期/トルーマンⅠ期	民主	46/11/4	174.40	177.20	181.16	3.88	2.2		
3	トルーマンⅡ期	民主	50/11/6	222.50	235.40	269.22	21.00	14.4		
4	アイゼンハワーⅠ期	共和	54/11/1	353.95	404.38	488.39	37.98	20.8		
5	アイゼンハワーⅡ期	共和	58/11/3	545.15	583.64	679.35	24.62	16.4		
6	ケネディ/ジョンソンⅠ期	民主	62/11/5	610.48	652.10	762.94	24.97	17.0		
7	ジョンソンⅡ期	民主	66/11/7	802.22	785.69	905.11	12.83	15.2		
8	ニクソンⅠ期	共和	70/11/2	758.01	838.92	890.20	17.44	6.1		
9	ニクソンⅡ期/フォード	共和	74/11/4	657.23	616.24	852.41	29.70	38.3		
10	カーター	民主	78/11/6	814.88	805.01	838.74	2.93	4.2		
11	レーガンⅠ期	共和	82/11/1	1,005.70	1,046.54	1,258.64	25.15	20.3		
12	レーガンⅡ期	共和	86/11/3	1,894.26	1,895.95	1,938.83	2.35	2.3		
13	ブッシュ（父）	共和	90/11/5	2,502.23	2,633.66	3,168.83	26.64	20.3		
14	クリントンⅠ期	民主	94/11/7	3,808.87	3,834.44	5,117.12	34.35	33.5		
15	クリントンⅡ期	民主	98/11/2	8,706.15	9,181.43	11,497.12	32.06	25.2		
16	ブッシュⅠ期	共和	02/11/4	8,571.60	8,341.63	10,453.92	21.96	25.3		
17	ブッシュⅡ期	共和	06/11/6	12,105.55	12,463.15	13,264.82	9.58	6.4		
18	オバマⅠ期	民主	10/11/1	11,124.62	11,577.51	12,217.56	9.82	5.5		
19	オバマⅡ期	民主	14/11/3	17,366.24	17,823.07	17,425.03	0.34	▲2.2		
20	トランプ	共和	18/11/5	25,461.70	23,327.46	28,538.44	12.08	22.3		
21	バイデン	民主	22/11/7							
							上昇（回）	20	19	
							下落（回）	0	1	
							勝率（%）	100	95	
							平均上昇率（%）	18.4	15.4	

（注）データは1942年11月2日～2019年12月31日。単位はNYダウが米ドル、騰落率が%。

（出所）Bloomberg等のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

**ここも  
チェック!**
**2022年10月12日 主要な資産の利回り比較（2022年9月）**
**2022年 9月29日 水準調整道半ばの米国株式市場**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。